

UC-9/10 プログラミング解説・操作方法

オーロラキュート

計測制御
文字プログラム編

(iPad 用)



オーロラキュート

ファイル ▾ 接続処理 転送 実行 その他 ▾

SWを押しながら にする → → → SWを離す → 「接続処理」をする

```

if(cds>50){
ledon(255,0,0,1);
}
else{
ledon(0,255,0,1);
}
    
```

フルカラーLED					
命令の種類	関数名	引数1	引数2	引数3	引数4
点灯	ledon	R値(0~255)	G値(0~255)	B値(0~255)	時間
フェードイン	fadein	R値(0~255)	G値(0~255)	B値(0~255)	-
フェードアウト	fadeout	R値(0~255)	G値(0~255)	B値(0~255)	-
点灯(連続)	fullledconti	色 (7色)	-	-	-
消灯	fullledoff	-	-	-	-
バックライト					
命令の種類	関数名	引数1	引数2	引数3	引数4
点灯	backlighttime	明るさ(%) (0~100)	時間	-	-
点灯(連続)	backlightconti	-	-	-	-
消灯	backlightoff	-	-	-	-
サウンド					
命令の種類	関数名	引数1	引数2	引数3	引数4
確認音 1	beep1	-	-	-	-
確認音 2	beep2	-	-	-	-
確認音 3	beep3	-	-	-	-
音プログラム再生	melodydata	-	-	-	-
タイマー (動作停止)					

プログラミングの流れ

③ 転送

④ 実行

The screenshot shows the Aurora Kyo software interface. On the left, a code editor contains the following C++ code:

```
if(cds>50){
  ledon(255,0,0,1);
}
else{
  ledon(0,255,0,1);
}
```

On the right, a table lists various command types and their parameters. A red callout box labeled "①オーロラキューと接続" points to the top of the interface. Another red callout box labeled "②プログラム作成" points to the code editor. A third red callout box labeled "③転送" points to the "転送" (Transfer) button in the top menu. A fourth red callout box labeled "④実行" points to the "実行" (Execute) button in the top menu.

命令の種類	関数名	引数1	引数2	引数3	引数4
フルカラーLED					
点灯	fullledconti	色 (7色)	-	-	時間
フェードイン	fullledoff	-	-	-	時間
フェードアウト	fullledoff	-	-	-	時間
点灯(連続)	fullledconti	-	-	-	時間
消灯	fullledoff	-	-	-	時間
バックライト					
命令の種類	関数名	引数1	引数2	引数3	引数4
点灯	backlighttime	明るさ(0~100)	時間	-	-
点灯(連続)	backlightconti	-	-	-	-
消灯	backlightoff	-	-	-	-
サウンド					
命令の種類	関数名	引数1	引数2	引数3	引数4
確認音 1	beep1	-	-	-	-

①オーロラキューを接続し、接続処理を行う (P.2)



②プログラムを作成する (P.3)



③接続を確認し、プログラムを転送する (P.4)



④転送したプログラムを実行する (P.4)

接続処理

「接続処理について」を参照して下さい。

プログラムの作成

●基本書式

関数名 (引数);

※引数が複数ある場合は “ , ” カンマ区切りで入力する
「 () ; 」 は半角で入力する

●入力例

引数が 4 つある場合

`ledon(255,0,0,1);`

関数名 引数 1 引数 2 引数 3 引数 4

フルカラーLED					
命令の種類	関数名	引数1	引数2	引数3	引数4
点灯	ledon	R値(0~255)	G値(0~255)	B値(0~255)	時間
フェードイン	fadein	R値(0~255)	G値(0~255)	B値(0~255)	-
フェードアウト	fadeout	R値(0~255)	G値(0~255)	B値(0~255)	-
点灯(連続)	fullledconti	色 (7色)	-	-	-
消灯	fullledoff	-	-	-	-

引数がない場合

`ledon();`

関数名

フルカラーLED					
命令の種類	関数名	引数1	引数2	引数3	引数4
点灯	ledon	R値(0~255)	G値(0~255)	B値(0~255)	時間
フェードイン	fadein	R値(0~255)	G値(0~255)	B値(0~255)	-
フェードアウト	fadeout	R値(0~255)	G値(0~255)	B値(0~255)	-
点灯(連続)	fullledconti	色 (7色)	-	-	-
消灯	fullledoff	-	-	-	-

●詳細の表示

各命令をクリックすると、詳細説明が表示されます。

フルカラーLED	
命令の種類	関数名
点灯	ledon
フェードイン	fadein
フェードアウト	fadeout
点灯(連続)	fullledconti
消灯	fullledoff

フルカラーLED 点灯
動作
指定したRGB値で指定した時間フルカラーLEDを点灯させる事が出来ます。

型
関数名 (R値 , G値 , B値 , 時間);

緑文字 : 設定画面で設定した関数名
赤文字 : 決められた文字 (半角)
青文字 : 任意の数値

R値 (赤)	0~255の数値 (半角)
G値 (緑)	0~255の数値 (半角)
B値 (青)	0~255の数値 (半角)
時間	0~31.75秒までの0.25秒間隔の数値 (半角)

プログラム記入例

関数名が"ledon"の場合

```
ledon(125,255,50,1.25);
```

プログラムの転送・実行

●転送

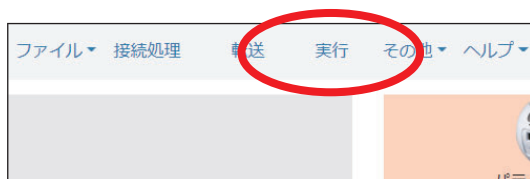
プログラムが完成したら、本体にデータを転送します。
画面上「転送」をクリックします。



転送中は LED が青く点灯します。
データ転送が完了したら、「ピッ」と音が鳴ります。
(転送ができない場合は接続処理を再度行ってから転送して下さい)

●実行

本体に転送したプログラムを実行します。
画面上「実行」をクリックします。



動作について

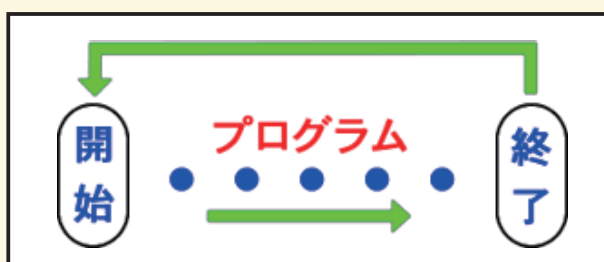
・アプリの実行ボタンを押し、実行した場合

転送したプログラムの開始から終了までを 1 度だけ実行されます。



・USB を抜き、本体の電源を OFF→ON にした場合

転送したプログラムの開始から終了までが繰り返して実行されます。



ブラウザへ保存・読み込み

弊社の Web アプリは『ブラウザへの保存』と『ファイルへ保存』の 2 種類の保存が行えます。

『ブラウザへ保存』『ブラウザから読み込み』の場合

ご利用のブラウザ（Googlechrome、Safari、Microsoft Edge）のキャッシュメモリへ、一時的に保存を行えます。

保存したプログラムデータの読み込みに便利ですが、学校環境の設定によりキャッシュメモリへの書き込みが禁止されていたり定期的にキャッシュメモリが消去される場合があります。設定をご確認の上で使用ください。

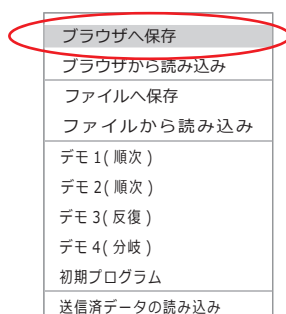
※保存データはファイルのように取り出して使用することはできません。

ブラウザへの保存方法

- ①メニューの『ファイル』をクリックします。



- ②『ブラウザへ保存』をクリックします。
- ③プログラム名を入力し保存します。



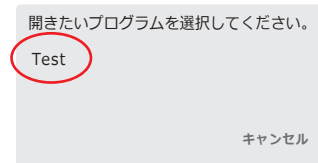
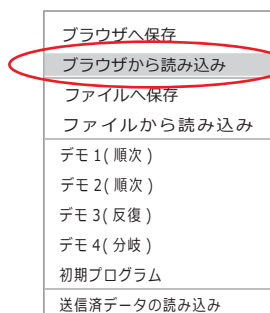
www.hisatomi-app.comの内容
プログラム名を入力して下さい

Test

OK キャンセル

ブラウザから読み込み方法

- ①メニューの『ファイル』をクリックします。
- ②『ブラウザから読み込み』をクリックします。
- ③プログラムを選択します。



開きたいプログラムを選択してください。

Test

キャンセル

ファイルへ保存・読み込み

弊社の Web アプリは『ブラウザへの保存』と『ファイルへ保存』の 2 種類の保存が行えます。

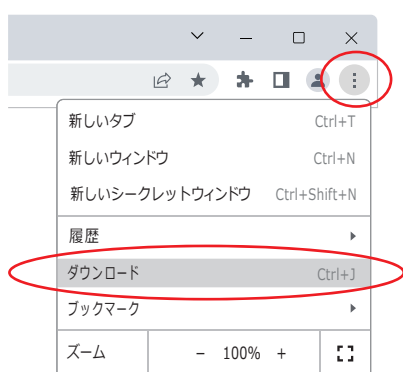
『ファイルへ保存』『ファイルから読み込み』の場合

『ファイルへ保存』の場合、プログラムファイルをダウンロードしファイルとして保存できます。データの保存場所は『ダウンロード』フォルダに保存されています。
(環境や設定により異なる場合があります)

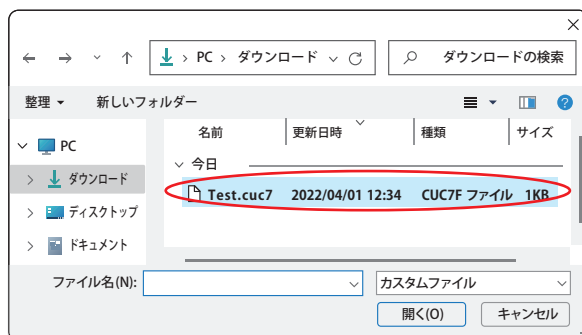
GoogleChrome のダウンロードフォルダの場所について

①ブラウザ右上の『…』をクリックし
ダウンロードをクリック

②フォルダを開くをクリック



③保存したファイルが表示されます



iPad のダウンロードフォルダの場所について

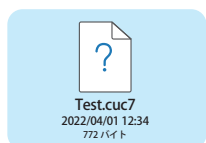
①ファイルアプリをタップ



②ファイルアプリにあるダウンロードフォルダをタップ



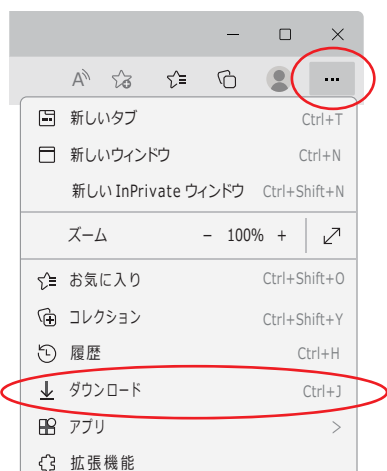
③保存したファイルが表示されます



ファイルへ保存・読み込み

Microsoft Edge のダウンロードフォルダの場所について

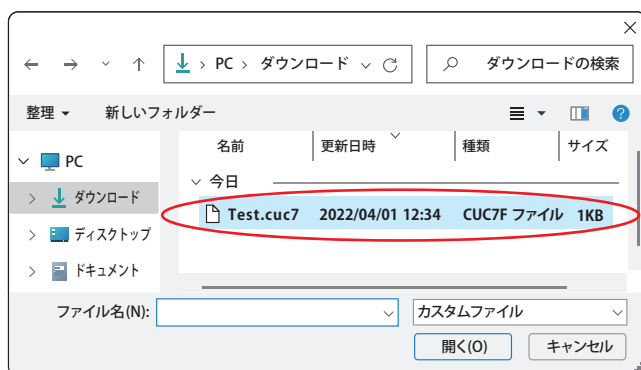
①ブラウザ右上の『…』をクリックし
ダウンロードをクリック



②フォルダを開くをクリック



③保存したファイルが表示されます



その他機能

●レポート作成

プログラムレポートを印刷することができます。
印刷環境によって PDF に保存することも可能です。

その他

●電池の使用について


パソコンと接続した USB ケーブルから電源を取ることで、電池や AC アダプタを使わずに授業ができます。

授業毎に電池を外してください。

電池を入れた状態でスイッチをオンにすると LED が点灯していても本体が動作しているので、電池を消耗してしまいます。

自宅で使う場合、電池よりも経済的な AC アダプタ (DC-05) の使用をお勧めします。

トラブルシューティング

確認事項	A 対処方法
●「接続処理」を押しても反応しない (データが転送できない)	<p>はじめてデータ転送を行う場合 「接続処理について」を参照して下さい。</p> <p>データ転送が出来ていたのに突然出来なくなった場合 アプリを更新(再読み込み)して下さい。</p>  <p>アプリを更新しても接続処理が出来ない場合はオーロラキュートの電源を入れなおして下さい。</p> <p>ケーブルを抜いた時はアプリを再読み込み(リロード)し、オーロラキュートも電源を入れ直して下さい。</p>
「ブラウザへ保存」したプログラムを「ブラウザから読み込み」を行いたいが表示されない	学校環境の設定によってブラウザへ保存ができない場合があります。その際は、「ファイルへ保存」を行って下さい。